

しおかぜ球場で 初勝利！



7月10日(土)、プロ野球イースタン・リーグ公式戦の「東北楽天ゴールデンイーグルス対北海道日本ハムファイターズ」が平成の森しおかぜ球場で開催され、約1,000人の野球ファンが、迫力あるプレーを楽しみました。

試合は、中盤までは白熱した投手戦となりましたが、ラッキーセブンの7回に、2本のホームランなどで一挙5点を追加した楽天が9対1で勝利！しおかぜ球場での記念すべき初勝利となりました。

この日は、前日の雨がうそのような快晴となり、応援する皆さんも選手以上に汗をかきながら熱い声援を送っていました。始球式でピッチャーを務めた伊里前ブルーオーシャンズの穴木友茂さん(◎中山)は「投げる時は緊張したけど、キャッチャーまでボールが届いたのでほっとしました」と安心した表情で話してくれました。



始球式では、ノーバウンド投球を見せてくれました



入場口では、かわいいチアガールがお出迎え！



日本ハムの中田翔選手も、この日は楽天のピッチャーにタジタジです



岩隈選手来ないかなあ...



日傘をさして観戦するお二人。とにかく暑かった



試合終了後は、選手たちとのふれあい野球教室も行われました



子どもたちは目を輝かせて監督や選手の話聞いていました

前日の夜は、仁村監督と中谷選手、森田選手を招いて南三陸町応援協議会主催の「東北楽天ゴールデンイーグルス南三陸町交流会」が開催されました。交流会では、子どもたちからの質問コーナーや記念撮影などが行われ、監督と選手が各テーブルを回って交流するサブライズイベントでは、選手たちを身近に感じることができ、参加した皆さんは握手やサインを求めるなど大喜びでした。

伝統を絶やすことなく

6月24日(木)、入谷小学校体育館で県の無形民俗文化財に指定されている「入谷打囃子」の開講式が行われ、これから打囃子の練習を開始する入谷小学校4年生から6年生の子どもたちへ、講師の先生から激励の言葉などが送られました。

入谷小学校では、総合的な学習の授業の一環として、4年生から6年生の子どもたち全員による入谷打囃子の伝承活動に取り組んでいます。

講師代表の西城新市さん(◎岩沢)から「伝統を絶やすことのないよう、一生懸命練習してください。」と激励の言葉が送られると、獅子あやしの担当でパトリリーダーを務める6年生の柳美春さん(◎中の町)が「昨年注意された動きなどを直すように練習に取り組み、6年生として4年生と5年生をまとめていきたいと思います。」と打囃子学習への抱負を話しました。



今後10回の練習を経て、12月5日(日)に行われる「南三陸町子ども伝統芸能発表会」での発表を目指します

未来に残そう青い海

6月25日(金)、気仙沼海上保安署の職員があさひ幼稚園を訪れ、園児72人は折り紙や紙芝居を楽しみながら、海にごみを捨てないことなどを約束しました。

新聞紙を使った折り紙では、署員の皆さんに手伝ってもらいながら出来上がった帽子をかぶったりして遊び、紙芝居では、海に捨てられたごみが海の生き物たちを苦しめていることなどを勉強しました。

その後、気仙沼海上保安署の根市勝さんが「今日は、もうひとりみんなのお友達が来ています。」と紹介すると、海上保安庁のマスコットキャラクターである「うみまるくん」が登場し子どもたちは大喜び！うみまるくんと子どもたちは「海や川にごみを捨てない」「今日話したことを家族に伝える」「海に遊びに行くときは、必ず大人と一緒に行く」の3つを元気な声で約束しました。



うみまるくんは、タテゴトアザラシの子どもです

8月1日(日)、大崎市の松山野球場で開催される「第46回宮城県消防操法大会」に、南三陸町消防団が気仙沼・本吉地区代表で出場することになり、7月18日(日)、旧入谷中学校の校庭で激励会が行われました。

この大会は、消防団員の技術向上と士気高揚を図ることを目的に、2年に1回開催されているもので、南三陸町消防団からは入谷地区の消防団から選抜された12名の消防団員が出演し、日ごろ鍛えた技術の正確さやスピードを競い合います。

激励会では、町長、議長、気仙沼地方振興事務所長から激励の言葉が送られ、これまで練習したポンプ車操法・小型ポンプ操法が披露されました。ポンプ車操法の部で指揮者を務める遠藤徳雄さん(◎入大船沢)は、「操法大会は団体競技であるので、選手間の結束を強め、良い結果を残せるよう努力したいと思います。」と大会への意気込みを話してくれました。

気仙沼・本吉地区代表で出場



ポンプ車操法の部の披露の様子